

エコリサイクル活動から地域との協働をめざした「クリーングリーン作戦」

【取り組み内容のポイント】 利用者と家族、職員、地元商店などの協力のもと資源回収エコリサイクル活動から始めた地域貢献と地域交流を、地元自治会や近隣企業、高校生、市などと協働による「クリーングリーン作戦」としてその活動目標と内容を発展させ、今後の更なる地域の活性化につながる取り組み。

茨城県

社会福祉法人

芳香会

〒307-0038 茨城県結城市七五三場 365

TEL：0296-35-0387 FAX：0296-35-1950

法人創設年

昭和 45 (1970) 年

法人実施事業

①経営施設数合計：9 施設

②経営施設・事業【種別毎の数】：

養護老人ホーム…1、特別養護老人ホーム…1、保育所…2、障害者支援施設…3、医療型障害児入所施設…1、介護老人保健施設…1、在宅事業（高齢・障害）、ケアホーム（障害）…2、グループホーム（障害）…1、グループホーム（高齢）…1、地域生活定着支援センター（県委託）…1、芳香会社会福祉研究所…1

法人の理念・経営方針

福祉大家（その道に優れた人）

【福祉大家】とは 芳香会初代の理事長が理想とし、目標とした言葉でした。その信念を実践すべく、それぞれの事業内容の充実をはかることに邁進する。

◇法人の経営方針

芳香会の諸活動の基本的な姿勢と全職員の精神的支柱としての基本方針

1. 高齢・障害児・者・児童を対象とした福祉事業の展開
それぞれの福祉サービスの提供者とし、プロ精神を培い常に真摯な姿勢を保ち、その基本となる哲学・科学技術を持って事業を展開する。

2. 地域とともに

地域の中で信頼される事業所としての役割を担い、常に実践行動することをモットーとする。

3. 惻隠（そくいん）の情

「ありがとう」の感謝の言葉、「はい」の素直な言葉、「ご苦労さま」のねぎらいの言葉等、相手の気持ちを思い測る心を常に持ち続ける。

取り組みの定款・事業計画上の位置づけ

①定款への記載：記載していない

②事業報告・計画への記載：記載している

取り組みを実施している施設の概要

【施設名】：社会福祉法人 芳香会 青嵐荘養護老人ホーム

【施設種別及び利用定員】：養護老人ホーム 定員 50 名

活動内容

◇活動開始年：平成 21 (2009) 年 7 月

◇活動の対象者：地元自治会、近隣の高校生・企業、結城市協働推進課、ボランティアグループ、一般応募のボランティア、施設利用者・職員

◇活動の頻度・時間

年 2 回、1 回あたり 2 時間程度

活動実施の背景、実施にいたった理由

当法人では平成 19 (2007) 年 12 月より地域貢献活動として、利用者と家族・職員・地元商店などの協力を得ながら本格的に空き缶・ペットボトル等の資源回収エコリサイクル活動を開始した。その活動から得られた収益を、もっと社会や地域のために還元し、地域貢献活動と一体化した地域交流活動ができないか、と考え、クリーングリーン作戦の実施に至った。

花いっぱい道にしよう、みんなが安心して通れる道を作ろう、との合言葉のもと、クリーングリーン作戦は日頃から通学・通勤等で使用している道路をきれいに（クリーン）、そして花でいっぱいに（グリーン）したいとの想いから企画された活動である。

そして、環境にやさしく、という法人スローガンのもと、資源回収エコリサイクル活動で得た収益を、たくさん花や木々に還元し、環境にも配慮した活動とした。

実施内容

クリーングリーン作戦は、はじめは近隣の高校へ参加を呼びかけ、高校生・施設の利用者・職員あわせて 40 名程での小さな活動から始まった。その後、草の処分等について市へ相談をした所、「環境美化パートナーシップ事業」について紹介され本活動を登録するに至った。この事業は活動に使用する備品の借用や市報への掲載、ボランティア保険への加入等を市が協力してくれるもので、これを活用して現在では広くボランティア参加の呼びかけを行っている。近隣住民に対しては、回覧板の活用や自治会総会へ積極的に参加をして活動の PR ならびに協力依頼を行い、2 つの地元自治会の協力を得られた。これらから、現在の参加者総数は 100 名を超える地域全体の活動として定着しつつある。

作業内容は沿道の除草・ゴミ拾いと花の植栽活動である。活動開始当初は、施設の前を通る全長 700m ほどの市道が活動範囲であったが、回を重ねていくなかで徐々に範囲を広げ、現在では約

2km ほどの範囲としている。また、資源回収エコリサイクル活動で得た収益からたくさんの花を準備し、植栽は車いすを使用されている利用者も参加できるよう低いテーブルを準備する等活動環境を整えている。また、PR 活動を通して沿道の地主からも協力を得て、花壇を設置する場所の提供をいただき、開始当初は 1 つであったが現在では 4 つの花壇を増設した。

◎活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

施設利用者においては高校生や地域住民、ボランティアの方々との交流を楽しみながら地域貢献活動を実践することができ、自らも地域住民の一人であるという意識をもつことができたといえる。

学生は終始控え目な様子で活動に参加されていたが、利用者との交流や活動を通して環境や福祉施設への関心をもつ機会を提供することができた。

納涼祭などの行事で地域の方々を招待することはあったが、同じ目的を持って同じ活動を行うことで、職員からは地域の方から直接、施設が所在する地域に関する話を伺うことができ、地域を知るよい機会となったという感想があがっている。また、活動を通して地域の方々と知り合うよい機会になり、地域がより身近なものになった。

地域の方からは「ゴミもなくなって道がきれいになった」「車で通りやすくなった」「散歩の途中花壇で花を見ながら一休みできてよい」という声も聞かれており、この活動の結果、環境整備を通して地域へ貢献ができたといえる。

以上のことから、世代を超えた参加者同士の交流や地域住民との情報交換の場としての役割（機

能）を持った活動を展開することができた。

◎今後の展開

エコリサイクル活動からクリーングリーン作戦として展開できたことは、地域貢献・地域交流のよい機会となり、活動を継続していくことで地域の方々につながる“きっかけ”として有効である。

また、今後は資源回収エコリサイクル活動からクリーングリーン作戦への一体的な活動のみならず、新たな活動を基盤とした、地域の方々と施設利用者・職員とが一体的に取り組み且つ、日常的な関わりをもつことができるような活動の構築を目指したい。

同時に、それらを災害時の協力体制にもつなげていきたい。

◎主な経費や財源及び人員等

※年間あたり

主な経費（支出）	経費概算額	主な財源（収入）	財源概算額
花代（備品含む）	73,878 円	法人負担 （エコリサイクル活動収益）	120,574 円
飲み物・その他	46,696 円		円
<合計>	120,574 円	<合計>	120,574 円

・取り組みに係わった人数（平成 23（2011）年度実績）

○ 1 回目参加者数：115 名〔職員：30 名、利用者：30 名、ボランティア等：55 名〕

○ 2 回目参加者数：110 名〔職員：35 名、利用者：30 名、ボランティア等：45 名〕

〔職種等：上記職員数は、養護老人ホームのみならず併設の特別養護老人ホーム、同法人内の他 4 事業所からの参加職員総数として記載。全職種で活動に係わる。〕

・取り組みを実施している施設の事業規模（平成 23（2011）年度決算の事業活動収入）〔172,474〕千円

※法人全体の事業規模（同上）〔2,923,763〕千円



地域との協働による除草作業とゴミ拾い



プランターへの植栽活動



力を合わせて花壇整備



作業を終えて一休み、自然と会話がはずみました